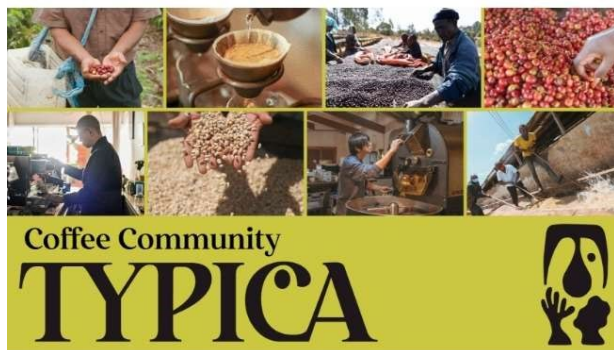


取組名称	コーヒー生豆のダイレクトトレードプラットフォームと「おかげさまの森」			団体設立後の経過年数	6年
応募取組主体名称	TYPICA Holdings 株式会社	活動地域	生産国・流通国 計111カ国	応募取組の活動年数	6年
取組主体の種別	企業 / 学校 / NPO・任意団体 / 自治体 / 地域コミュニティ / 個人 / ユース部門（概ね30代以下の次世代を担う若手を中心となって実施する取組はこちらにもチェックしてください） / その他				
応募取組に関連する 実行委員会特別賞	サステナブルデザイン賞 / 子どもエンパワーメント賞 / 環境と福祉賞 / 環境地域ブランディング賞 / 環境ひとづくり賞 / 環境社会イノベーション賞 / 地球と人への想いやり賞 / SDGsビジネス賞 / EXPO2025 いのち動的平衡賞				



取組の要旨

世界111カ国のコーヒー生産者とロースターがコーヒー生豆をダイレクトトレードできるオンラインプラットフォーム「TYPICA」を運営。生産者は先物市場に依存せず自ら価格を決定し安定収入を得ることで、自立した営農を可能にします。ロースターは安定した調達により収益性を高め、地域経済に寄与すると共に、例えば日本では約1000軒のTYPICAを活用するロースターが各地域で生活者に普及・啓発します。この基盤を活かし、コーヒーの生産に必要な森を生産者とロースター、生活者が共につくる「おかげさまの森」を展開。生産国・消費国の各地域が繋がり、コーヒーのサステナビリティを共に高めるネットワークを形成することで、自律・分散型社会に寄与します。

実績の要旨

当社のプラットフォームは現在、世界44カ国・約16.7万軒の生産者と7,600軒を超えるロースターが登録し、2024年度の取引総額は16.9億円と前年比約1.5倍に成長しました。取引により生産者の収入は従来比で最大3.3倍に向上し、安定した生活基盤の形成につながっています。「おかげさまの森」においては5軒の生産者による参画し、大阪・関西万博でのイベントにおいて森づくりの構想を発表し、資金を集め、1万本の植樹を目標としてスタートします。

取組活動の 効果	環境への貢献	「おかげさまの森」を通じて森林再生とGHG削減を推進し、脱炭素型コーヒー生産への移行に寄与します。
	社会・経済への貢献	ダイレクトトレードにより生産者とロースター双方の収益性を高め、地域の自立と雇用創出に寄与します。
	地域資源の活用	各産地の土壌・気候・品種を適正価格で国際市場に結びつけるとともに、「おかげさまの森」で自然資本を守り次世代へ循環します。
	普及・汎用性	オンラインプラットフォームにより世界中の生産者・ロースターが参加可能。またロースターやイベント等を介して生活者へ普及します。
	革新・ユニーク性	世界一多様なネットワークによるダイレクトトレードプラットフォームと、「おかげさまの森」等グローバル・ローカルが連動した活動を展開します。
	継続性	ダイレクトトレードによる関係構築を基盤として「おかげさまの森」を展開し、コーヒーのサステナビリティを高めます。

展望の要旨

2035年までにアラビカ種の33%がダイレクトトレードされる世界一のコーヒー市場を目標に、安定した取引基盤構築、おかげさまの森の拡大等に取り組みます。